

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【公開番号】特開2017-23236(P2017-23236A)

【公開日】平成29年2月2日(2017.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-005

【出願番号】特願2015-142750(P2015-142750)

【国際特許分類】

A 6 1 N 1/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/32

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月9日(2018.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】手続補正書

【補正対象項目名】手続補正 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

任意の電圧を発生する回路と、前記電圧と極性の異なる電圧を発生する回路を有し、複数の電極パッドより、正負の電圧パルスが発生させ、前記負の電圧パルスが、前記正の電圧パルスより周波数が高いことを特徴とする疼痛除去装置

【請求項 2】

前記正の電圧パルスの周波数は、身体を形成する細胞に対するインピーダンスが高く、一方前記負の電圧パルスの周波数は、前記細胞に対するインピーダンスが低く設定され、前記正の電圧パルスが前記細胞外を通過し、前記負の電圧パルスの周波数が前記細胞内も透過することができる様に設定されていることを特徴とする請求項1に記載の疼痛除去装置

【請求項 3】

前記負の電圧パルスの周波数が 100 kHz 以上であり、前記正の電圧パルスが 1 kHz 以下であることを特徴とする請求項 1 及び、請求項 2 記載の疼痛除去装置

【請求項 4】

前記負の電圧パルスの大きさと前記正の電圧パルスの強度、および時間的な発生タイミングをそれぞれ個別に変化させる事ができる様に構成したことを特徴とする請求項1から請求項 3 に記載の疼痛除去装置